

ごあいさつ

平素より北海信用金庫の業務運営に対し、格別のご愛顧、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
おかげさまで、平成28年3月10日をもちまして、当金庫は創立90周年を迎えることができました。重ねて厚く御礼申し上げます。

ここに事業概況、業務及び財務内容、地域貢献活動、人材育成等についてまとめた「北海しんきんレポート2016」を作成いたしましたので、当金庫に対するご理解をより一層深めていただければ幸いです。

さて、平成27年度の我が国経済は、世界的な先行きへの不透明感から金融市場の混乱が続くなか、マイナス金利政策の導入等、取り巻く環境は急激に変化いたしました。また、中国をはじめとする新興国経済の減速等の影響が輸出低迷に繋がり、企業の生産活動や設備投資の抑制がみられたほか、個人消費においても、節約志向の根強さから持ち直しの動きに足踏み感がみられましたが、雇用・所得環境の改善傾向が続いていること等、一部に明るい兆しもみられます。

北海道経済においては、公共投資の減少が続いた一方で、外国人観光客の大幅な増加に加え、北海道新幹線の開業を契機とした道外観光客の需要増加が今後の道内景気を下支えすることが見込まれます。

このように激しく変化する環境のなかで、当金庫といたしましては、景気に左右されない質の高い金融機能を発揮することで、地域経済の活性化や地方創生に貢献し、後志を含む道央圏の核となる金融機関として、地域経済を永続的に守っていくため、平成30年1月をめどに札幌信用金庫・小樽信用金庫と対等合併することに基本合意いたしました。

合併手続きが予定通り進めば、今年度が「北海信用金庫」として1年を通じて業務を行う最終年度となりますが、合併に向け、収益力の向上をはじめ、より一層の経営基盤強化に努めていくとともに、90年の歴史の中で培ってきた庫風を保ちつつ、合併後も当金庫職員が地域の皆さまのためにその力を如何なく発揮することができるよう、引き続き全役職員一丸となって業務運営に努めてまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年7月
理事長

西田 覚

